
(別添2) 仲卸業者アンケート報告書（青果物）

調査概要

東京と福島の合計5市場の青果仲卸業者に対し、福島県産青果物の取扱い状況等に関するアンケートを行い、160社から有効回答を得た。
調査対象品目のそれぞれで、取扱社数は48～97社となった。

調査対象

エリア	市場	回答数（社）
首都圏	東京都中央卸売市場大田市場	94
	東京都中央卸売市場築地市場	45
福島県	いわき市中央卸売市場	5
	郡山総合地方卸売市場	5
	福島市公設地方卸売市場	11
総計		160

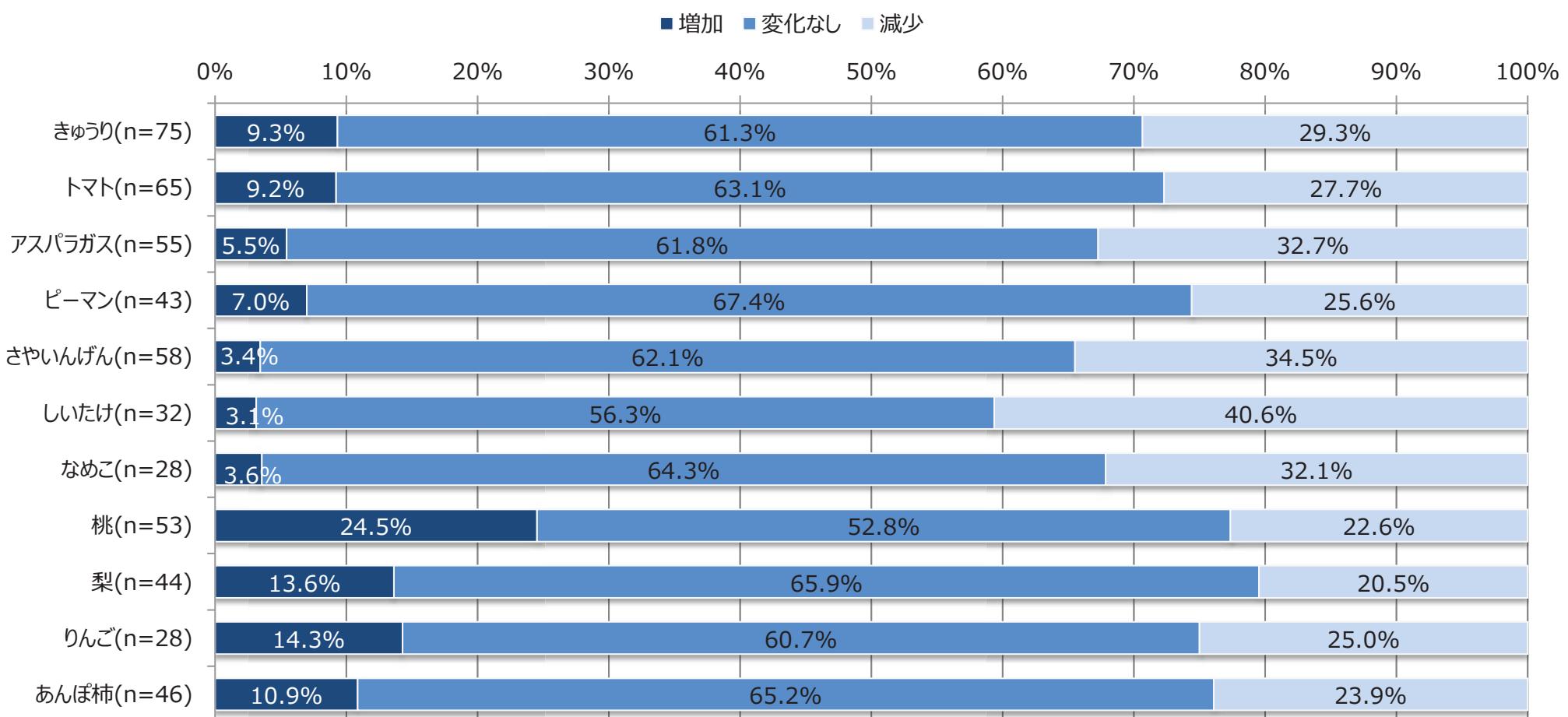
品目別取扱社数（社）

エリア	きゅうり	トマト	アスパラガス	ピーマン	さやいんげん	しいたけ	なめこ	桃	梨	りんご	あんぽ柿	いづれも扱いなし
首都圏	76	66	58	48	60	33	32	56	45	28	48	22
福島県	21	20	19	19	19	20	21	19	20	20	20	0
総計	97	86	77	67	79	53	53	75	65	48	68	22

取扱量の変化（首都圏）

福島県産青果物の取扱いについて、首都圏の仲卸業者のうち、取扱いを減少させた品目が一つでもある事業者は約3割（46社／139社）である。ただし、各品目では、約5～6割は取扱量に「変化なし」と回答している。

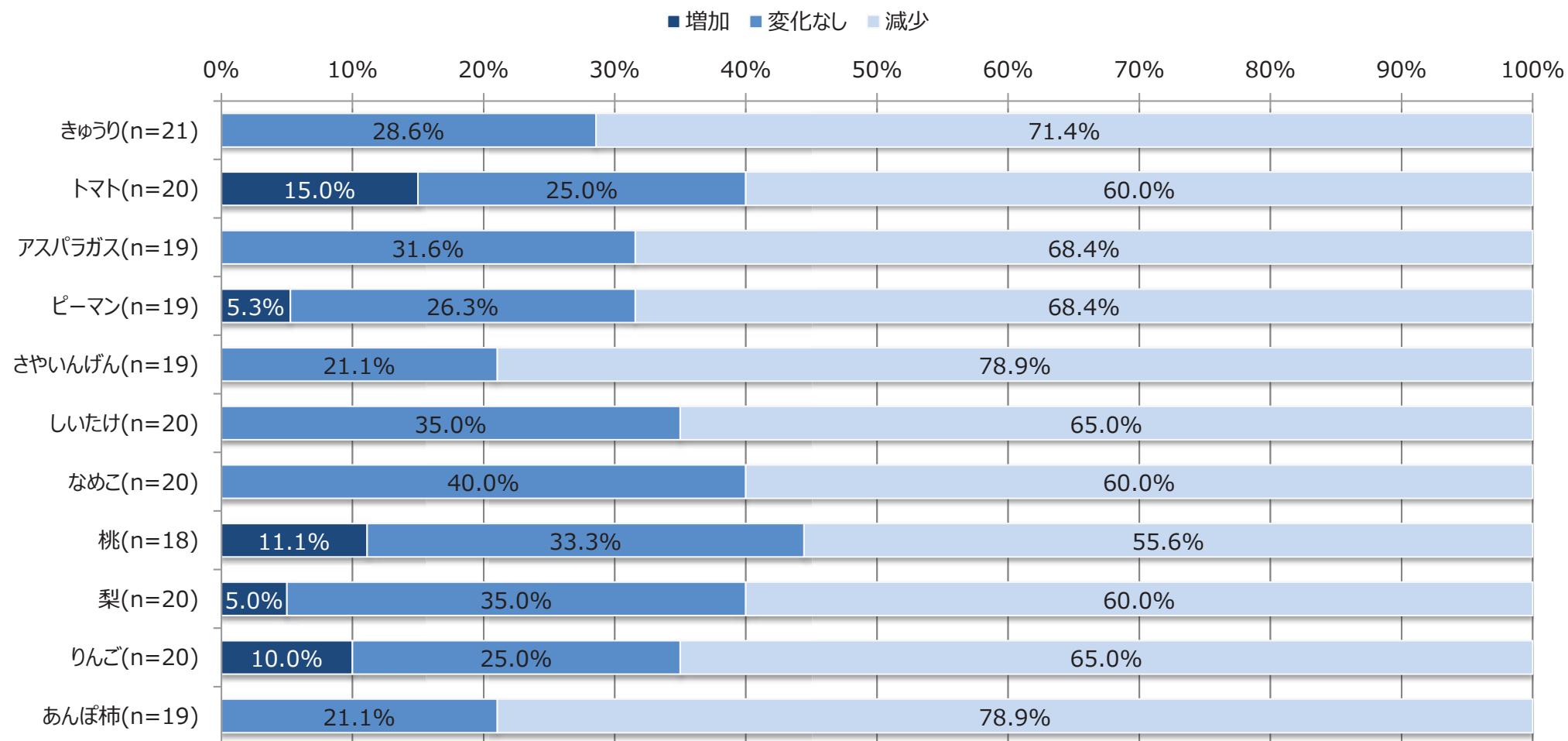
震災後の福島県産青果物取扱量の変化（首都圏）



※取扱いが減った品目が一つでもある事業者数は46社

福島県産青果物の取扱いについて、福島県の仲卸業者のうち、取扱いを減少させた品目が一つでもある事業者は約9割（18社／21社）である。

震災後の福島県産青果物の取扱量の変化（福島県）

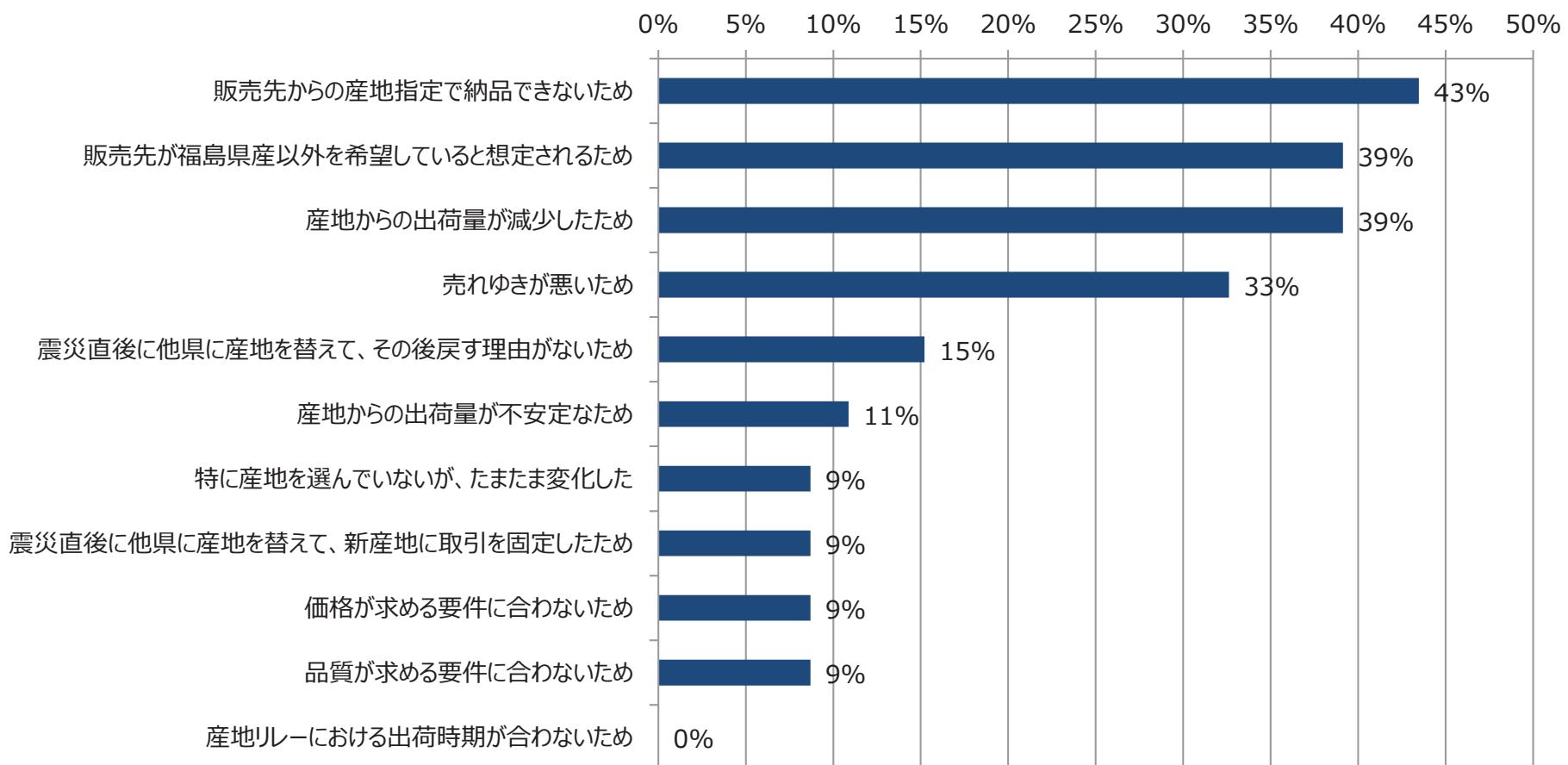


※取扱いが減った品目が一つでもある事業者数は**18社**

取扱量の減少理由（首都圏）

首都圏の仲卸業者における福島県産青果物の取扱量の減少理由として、「販売先からの産地指定で納品できない」「販売先が福島県産以外を希望していると想定される」「売れゆきが悪い」を挙げている事業者が多い。

取扱量の減少理由（首都圏、複数回答、n=46）

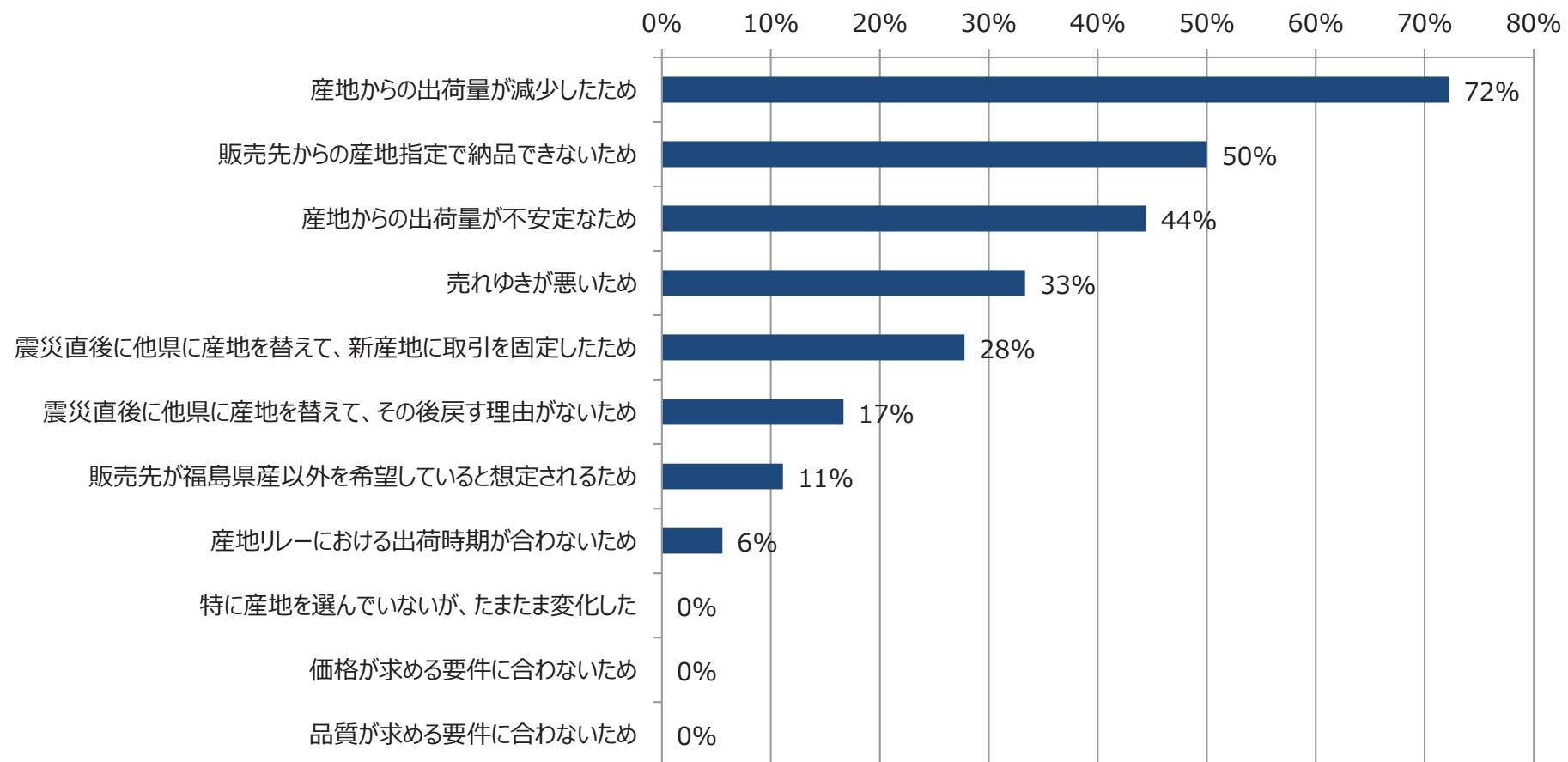


※取扱いが減った品目が一つでもある事業者（46社）の回答を集計

取扱量の減少理由（福島県）

福島県の仲卸業者における福島県産青果物の取扱量の減少理由として、首都圏と同様に「販売先からの産地指定で納品できない」「売れゆきが悪い」が挙げられている一方、「産地からの出荷量が減少」「産地からの出荷量が不安定」の割合が高い。

取扱量の減少理由（福島県、複数回答、n=18）

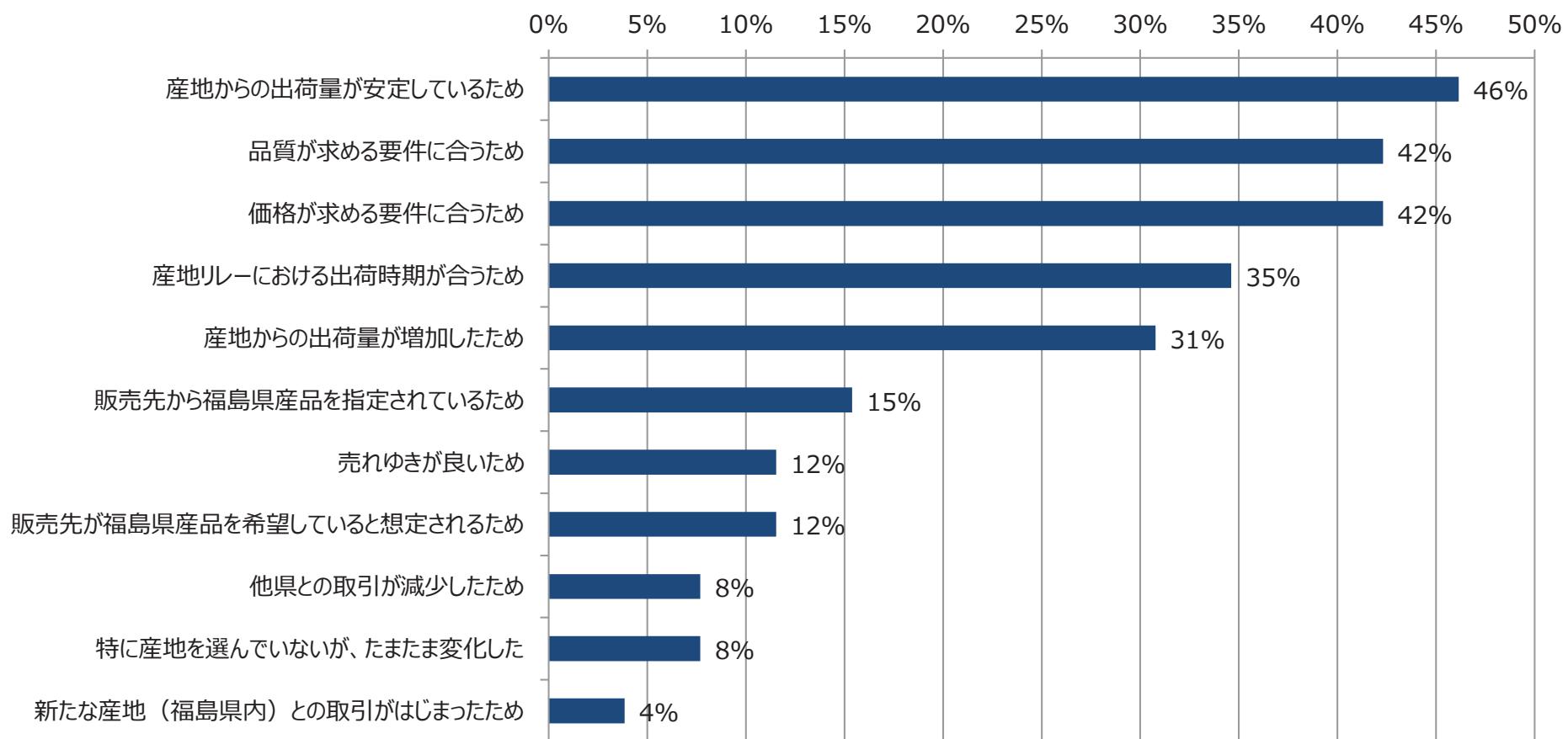


※取扱いが減った品目が一つでもある事業者（18社）の回答を集計

取扱量の増加理由（首都圏・福島県）

福島県産青果物の取扱量が増加した理由としては、「産地からの出荷量が安定している」「品質が求める要件に合う」「価格が求める要件に合う」を挙げている事業者が多い。その他、「販売先から福島県産品を指定されている」との回答も15%存在した。

取扱量の増加理由（首都圏・福島県総計、複数回答、n=26）



※取扱いが増えた品目が一つでもある事業者（26社）の回答を集計

福島県産青果物の価格について、3を平均値として5段階で評価したところ、通常時には平均2.79となった。供給過小の場合にはおむね変化はないが、供給過剰の場合には減少する傾向にある。

他県産と比較した際の福島県產品の価格評価

	首都圏の仲卸			
	通常時	供給過小の 場合	供給過剰の 場合	需給状況による 差の有意性
きゅうり	3.03	2.99	2.61	***
トマト	2.90	2.95	2.61	**
アスパラガス	2.79	2.86	2.60	-
ピーマン	2.79	2.88	2.47	***
さやいんげん	2.80	2.84	2.48	**
しいたけ	2.81	2.81	2.59	-
なめこ	2.85	2.81	2.52	-
桃	2.57	2.82	2.28	***
梨	2.72	2.88	2.43	*
りんご	2.41	2.57	2.04	*
あんぽ柿	2.98	2.95	2.68	-
全品目の平均	2.79	2.85	2.48	

*** : 1%水準で有意差あり ** : 5%水準で有意差あり * : 10%水準で有意差あり - : 有意な差がない
 1%水準のような低い水準で有意差があれば、需給状況による価格評価の差は、今回の調査に限った偶然の結果ではないと評価できる。
 有意な差がない場合は、本来は差がないのに、今回の調査でたまたま差が現れた可能性を考慮する必要がある。

(5 = 他県産よりも高い、4 = 他県産よりやや高い、3 = 他県産と同程度、2 = 他県産よりやや安い、1 = 他県産より安い)
 とした5段階の選択肢への回答の平均値を記載

福島県産青果物の価格について、3を平均値として5段階で評価したところ、通常時には平均2.36となった。供給過小の場合にはやや増加し、供給過剰の場合には供給過小の場合と比べると大幅に減少する傾向にある。

他県産と比較した際の福島県產品の価格評価

	福島県の仲卸			
	通常時	供給過小の場合	供給過剰の場合	需給状況による差の有意性
きゅうり	2.29	2.80	1.50	***
トマト	2.30	2.68	1.47	***
アスパラガス	2.71	2.83	1.69	***
ピーマン	2.21	2.67	1.59	***
さやいんげん	2.44	2.72	1.56	***
しいたけ	2.50	2.78	1.53	***
なめこ	2.40	2.63	1.56	***
桃	2.39	3.00	1.53	***
梨	2.22	2.67	1.53	***
りんご	1.89	2.44	1.56	*
あんぽ柿	2.63	2.88	1.88	**
全品目の平均	2.36	2.74	1.58	

*** : 1%水準で有意差あり ** : 5%水準で有意差あり * : 10%水準で有意差あり - : 有意な差がない
 1%水準のような低い水準で有意差があれば、需給状況による価格評価の差は、今回の調査に限った偶然の結果ではないと評価できる。
 有意な差がない場合は、本来は差がないのに、今回の調査でたまたま差が現れた可能性を考慮する必要がある。

(5=他県産よりも高い、4=他県産よりやや高い、3=他県産と同程度、2=他県産よりやや安い、1=他県産より安い)
 とした5段階の選択肢への回答の平均値を記載